

# ファーマくんがゆく

## とかしきなおみ衆議院議員の ところにお邪魔しました!



**ファーマくん:**以下、ファーマ 今日  
は昨年末の総選挙にて当選され、国会で  
も薬剤師議員として活躍のとかしきな  
おみ衆議院議員のお話を伺いに衆議院  
第一議員会館の事務所をお訪ねしていま  
す。とかしき先生、先日選挙でのご当  
選おめでとうございます。

**とかしき議員** あらがうございます。  
今回の選挙結果は、全国の薬剤師の先生  
方に温かく応援頂いたお陰です。薬剤  
師・厚生労働関係議員として少しでも先  
生方のお役にたてるよう頑張っています。  
ですから変わらぬご指導とご鞭  
撻をお願いします。

**ファーマ** 第189回国会も開会され  
ましたが、今後の国会での活動につい  
ての抱負などをお聞かせ頂けますか?  
**とかしき議員** 我が国は超高齢社会を  
迎え、増加する社会保障費を効率化・適



正化により少しでも抑制しようと躍起に  
なっています。その為、薬価に対する切  
り込み圧力は年々大きくなり、診療報酬  
の埋め合わせを薬価切り下げで賄うこと  
が常態化されつつあります。この流れを  
変えるにはどうしたら良いのか。そこで  
私は、不足している社会保障費を生み出  
す仕組み作りに、今後取り組んで行きた  
いと考えています。

**ファーマ** 選挙公約にもされておりま  
す、とかしき先生の選挙区である地元大  
阪の吹田市・摂津市では世界ではじめて  
の街づくりに取り組んでおられると聞  
きました。詳しく教えていただけますか?

**とかしき議員** 「循環器の病を減らす街  
づくり」を3年後完成に向けて挑戦して  
います。この街では、移転してくる国立  
循環器病センターが長年研究してきた予  
防医療の情報を、商品にして、医療関係  
者だけでなく市民も巻き込んで、街全体  
で世界に向けて発信します。これに経済  
性を持たせ、最終的に目指せ！観光地・  
地方創生で頑張っていくことを考えていま  
す。

**ファーマ** 予防医療の情報を発信する  
街ですか?

**とかしき議員** はい。昨年、世界保健  
機関(WHO)を訪れた時に、幹部との  
やり取りの中で「日本に、何か学びたい  
ことはありますか?」と私が尋ねると、「  
日本人は、なぜ健康で長寿なのか、そ  
の秘密がぜひ知りたい」と即答されまし

た。実は日本は、世界一の長寿国として  
憧れの国だったのです。そうであれば、  
我が国から発信する「予防医療の情報」  
は、必ずや世界で価値あるものになると  
確信しました。

**ファーマ** 循環器の病と健康長寿とは  
関係があるのですか?

**とかしき議員** 健康で長生きするには、  
循環器の病にならないようにすることが  
重要です。日本人の死亡原因(H25年厚  
労省調べ)は、ガンが約28%と1位で  
すが、循環器の病(心疾患・脳血管疾患  
を合わせた)は約25%と殆ど変わり  
ません。しかし、年間に掛かる医療費は  
ガン3.4兆円で、循環器の病は5.4兆  
円と最も費用のかかる病です。さらに、  
寝たきりになる原因の約52%が循環器  
の病が引き金になっています。しかし循  
環器の病はガンと異なり「食事と運動の  
バランス」さえ取れば、多くの場合で  
予防が出来るのです。健康長寿を求める

中で最も価値ある情報は、循環器の病を  
減らす「予防医療の情報」なのです。

**ファーマ** 今後、薬剤師に対してのご  
意見やお考えがあればお聞かせいただけ  
ますか?

**とかしき議員** 医療技術の高度化など  
で薬学教育も6年制となり医療現場にお  
ける薬剤師に期待される役割は大きく  
なっています。先程の街づくりの話とも  
つながりますが、例えば薬局で経済性を  
持たせた「予防医療の情報」のやり取り  
をしようとするれば、絶対欠かせないのは  
患者さんとの「信頼関係」です。薬剤師  
が地域医療の要になるには、知識と経  
験と、さらに人間力を合わせた力が今後  
益々必要になって来るでしょう。そこへ  
の取り組みに今後注力していきたいと考  
えています。

**ファーマ** いろいろと、お話聞かせ  
頂きありがとうございました。元気がい  
っぱいとかしき先生のご活躍を期待して  
います。



おります。  
**とかしき議員** こころぞありがどう  
ございました。薬剤師の仕事が皆さん  
夢と誇りを持って活躍できる環境の整備  
に、今後も積極的に取り組んでまいりま  
す。

### もとゆき Report

#### 藤井もとゆき国会レポート

薬剤師・薬学博士  
文部科学副大臣・参議院議員  
藤井もとゆき



#### 地域医療連携推進法人制度について

第189回通常国会は、衆参両院での安倍首相の施政方針演説、各党代表質問  
に続いて、衆議院予算委員会の質疑が行われています。昨年末の解散・総選挙の  
影響で国会日程が厳しいなか、政府は来年度予算の年度内成立に向けて全力で  
取り組んでいます。

さて、厚生労働省では「地域医療連携推進法人制度(仮称)」の創設に関する法  
律案を今国会に提出すべく検討を進めています。本法人制度については、安倍  
首相が昨年1月のダボス会議の冒頭演説において「日本にもMayo Clinic\*のよ  
うな、ホールディングスカンパニー型の医療法人ができてしかるべきだから、制  
度を改めるようにと、追加の指示をしました。」との発言を受け、昨年の「日本再  
興戦略」改訂2014に「複数の医療法人、社会福祉法人等を社員総会等を通じて  
統括し、一体的運営を可能とする『非営利ホールディングスカンパニー型法人  
制度(仮称)』を創設する」ことが明記されました。

地域医療連携推進法人(仮称)は、複数の医療法人等の機能分化・業務連携に  
関する統一の方針を作成して、グループとしてそれぞれの法人等を一体的に  
運営することにより、経営効率の向上を図るとともに地域における良質かつ適  
正な医療提供体制の確保をすることを目的として、地域医療構想を達成するた  
めの一つの選択肢として創設するものです。

この他、持続可能な医療保険制度を構築するため、国保への財政支援を拡充  
して財政基盤を強化し、都道府県が責任主体となり安定的な財政運営や効率  
的な事業運営を行うことにより、制度の安定化を図るための国民健康保険等の一  
部を改正する法律案も提出されます。

超高齢化社会を迎え、治療・介護の地域包括ケアシステムづくりなど、薬局、  
薬剤師への期待も一段と高まっています。地域医療体制の整備と持続可能な社  
会補償制度の構築を目指して、皆さんと共に取り組みたいと思います。

\*アメリカ合衆国ミネソタ州ロチェスター市に本部を置く総合病院。